

令和7年度 国語科授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	育成を目指す資質・能力	児童・生徒の実態を踏まえた課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	・文章中で使用されている語句の意味について判断する力。 ・段落の役割、構成や展開を考える力。 ・必要な情報を要約し、内容を読み取る力。	・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係など、我が国の言語文化に関する知識及び技能。 ・書く内容の中心を明確にすること。 ・目的に応じて必要な情報に着目し、内容を解釈する力。	・意味が複数ある場合などは、その都度全体で確認をして適切な意味を判断する力を養う。 ・構成シートを用いて、内容の順序の工夫を図る。 ・形式段落のまとめの一文に着目して読み、要点整理シートを用いて要約する指導に注力する。
2年	・話すことや書くことにおいて自分の考えが分かりやすい表現になるよう、工夫する力。 ・根拠の適切さを考えて、文章の構成や展開を工夫する力。 ・どの部分で、なぜそのように書いてあるのかを、考え読み取る力。	・話し言葉と書き言葉など、我が国の言語文化に関する知識や技能。 ・意見と根拠、具体と抽象などの関係について理解すること。 ・情報を整理し、登場人物の言動の意味を考え、内容を読み取ること。	・話し言葉と書き言葉の特徴を明確に理解し、習得させるため、小テストを積み重ねる。 ・ICTの発表ノートなどを活用し、生徒の考えに対する理由、根拠がより明確になるよう努める。 ・説明や場面の移り変わりなど、内容を細かく文章と一致させながら読み取りを進める。
3年	・慣用句の意味や用法など、我が国の言語文化に関する知識や技能。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして読み取り、考えること。 ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして構成を工夫することや表現を工夫すること。	・文脈に沿った言葉の意味の違いを理解して、活用する力。 ・論理の展開に注意して、文章の中心となる内容を読み取る力。 ・根拠を明確にして自分の考えを書く力や表現を工夫して書く力。	・慣用句カレンダーの作成など、生徒が主体となって語彙を習得できる活動の場を設定する。 ・根拠となる事実と結論との結び付きについて、図表を用いて整理する指導に注力する。 ・序論・本論・結論の三段落構成や起承転結の四段落構成など、条件に合わせて文章構成を考える表現活動を充実させる。